

OnAir 3000 ユーザーレポート

九州朝日放送株式会社 様

OnAir 3000-24F



ラジオ第2スタジオをOnAir 3000で更新



九州朝日放送株式会社
ラジオ局 編成業務部
邑上 昭彦

事前アンケート

2016年3月、2000年から15年間使用してきたラジオ第2スタジオ（以下、2スタ）の設備を更新することになりました。長年、テレビで音声の仕事に携わってきた私が、ラジオ局へ異動したその年に2スタ更新を担当することになったため、まずは現状を把握することから始めました。KBCラジオでは、スタジオ音声卓のオペレーターは技術の人間ではなく、制作スタッフが担当しています。そこで、とりあえず、オペレーターやディレクターなど、2スタを使用する皆様に事前アンケートを配布し、今までの設備で不満のあるところや今後導入してほしい機器などを挙げてもらいました。2000年に導入され、これまで使用してきた音声卓は、EQも付いていない極めてシンプルなアナログ卓で、ボタンやつまみなども必要最小限のものでしたが、アンケートの結果、更新後もこれまでと同じような音声卓を希望する声が多く寄せられたため、見た目や操作方法がとにかくシンプルな音声卓を選定の第一条件としました。

365日生放送運用

KBCの2スタは、平日は早朝からナイター中継終了まで、土曜は7時から22時まで、日曜も9時から17時半までと、1年365日、ほぼ休むことなく生放送を送り出しています。このため、トラブルがなく信頼性の高い音声卓であること、また、2スタ更新と同じタイミングで「ワイドFMの開局」も決まっていたため高音質であることも重要でした。そして、これらの要求を満たす音声卓は…「やはりOnAir 3000！」と、ほとんど迷うこともありませんでした。主にラジオ用に設計されているためシンプルで使い勝手も良さそうです。他局への導入実績も豊富なので信頼性も高く、また、STUDERの音声卓はすでに弊社の1スタや6スタにも導入されているため、音質面についても実証済みです。今回の更新では、周辺機器やマスター間の入出力をほとんどデジタル接続に変更したこともあり、更新後、KBCラジオの音を以前よりも高音質で送出できていることを、改めて実感しています。

更新して半年

更新して約半年が経過しましたが、今のところ大きなトラブルもなく、順調に稼働しています。OnAir 3000にはEQやCOMPなどももちろ

ん装備されていますが、積極的に使用しているオペレーターはまだ少ないようなので、今後は使用方法なども含め、少しずつアドバイスしていくべきかもしれません。

今回の更新で実感したことは、自分以外のスタッフが使用するスタジオを設計するのは、本当に大変だということです。自分で使用するスタジオならば、自分が使いやすいように設計すれば良いのですが、そうではないスタジオの更新は、使う人の立場に立って想像力を駆使するしかなく、その点にとっても苦心しました。最後に、スチューダー・ジャパンブロードキャストをはじめ、2スタ更新にご協力くださった方々へ、この場をお借りして御礼申し上げます。お陰様で性能や使い勝手の良さだけでなく、おしゃれな雰囲気スタジオが完成しました。

